

空いっぱい広がるうろこ雲に本格的な秋を感じる季節です。稲刈りが終わった田んぼには、必ずこの季節を忘れずに一斉に咲き誇る彼岸花が鮮やかな赤を見せてくれるはずなのですが、今年はどうしたことか、少し遅れているようです。



コロナ禍の中で4月から始まった本年度もちょうど半分を終え、折り返し地点を迎えました。一年で一番過ごしやすいこの季節、例年とは違った制約はあるものの、勉強にスポーツに、また、学校行事に、そして、進路の決定に向けて充実した生活を送ってほしいと願っています。

## 第2回コミュニティスクール運営協議会開催

9月24日（木）、本年度2回目の運営協議会が八郷小学校のコミュニティスクール運営協議会と合同で、本校を会場に開かれました。全員で授業を参観したあと、両校の活動の紹介や今後の活動のあり方について熱心に意見交換が行われました。

委員の方々には、廊下や教室の掲示物など、工夫を凝らした創作物や力のこもった作品に足を止められ、お褒めの言葉をいただきました。また、学習環境が整い、整然と授業が進められているとの評価もいただきました。



今回の合同開催により、学びの連続の視点からも情報交換ができたことは、大変意義がありました。今後も地域のみなさんのお力添えをいただきながら、教育活動のさらなる充実をめざしていききたいと思えます。

## 道徳 ～教科書から学びを深める～

4連休明けの9月23日（水）、道徳の授業を通して学び合う校内研修会が行われ、各学年で選ばれた学

級がそれぞれ授業を公開しました。また、当日は四日市市教育委員会から3人の指導主事に来ていただき、授業参観の上、事後の研修会でご指導ご助言をいただきました。

中学校で「道徳」が「教科」になって2年目（小学校は3年目）を迎えましたが、教師も、「考え、議論する道徳」への授業転換と、多様な指導方法の工夫や評価について、まだまだ研究や研修を重ねなければなりません。

授業では、生徒がそれぞれに持つさまざまな価値観に基づく意見が交わされ、新たな気づきもあったようです。わたしたち教師も、生徒とともに考えようとする姿勢を常に持って、子どもたちの自己実現と質の高い学びのために、さらに努力していききたいものです。



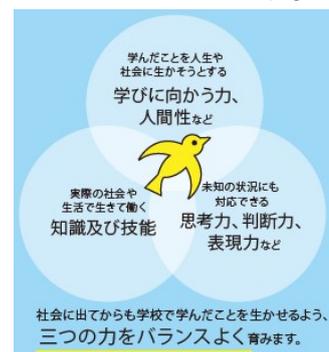
# 来年度本格実施の新学習指導要領について

来年度より新しい「学習指導要領」が施行されます（部分的に道徳などは先行実施）。

「学習指導要領」とは、全国どの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。子どもたちの教科書や時間割は、これを基に作られ、およそ10年に一度、改訂されます。その改訂を受け、中学校では令和3年度から本格的に新学習指導要領による教育活動が行われます（小学校は令和2年度～、高等学校は令和4年度～）。

今回の改訂では、これまで大切にされてきた、「子どもたちに『生きる力』を育む」という目標に加え、社会の変化を見据え、新たな学びを目指しています。「学校で学んだことが、子どもたちの『生きる力』となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。」「これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。」「明るい未来を、共に創っていきたい。」、そんな願いが、「新学習指導要領」に込められています。

『生きる力』を育むために、「何を学ぶか」だけでなく、「主体的・対話的で深い学びの視点からどのように学ぶのか」も重視して授業改善を図ります。そして社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力（①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力など、③学びに向かう力、人間性など）をバランスよく育むことが改訂のねらいです。



新学習指導要領施行に伴い、評価の方法も変わります。なお、三つの力のうち③「人間性など」については、各教科の評価に含めません。

現行の学習指導要領における評価の4観点	新しい学習指導要領における評価の3観点
①関心・意欲・態度	①知識・技能
②思考・判断・表現	②思考・判断・表現
③技能	③主体的に学習に取り組む態度
④知識・理解	
※国語は5観点	※全教科3観点

各教科でどのように評価するかは、令和3年4月に配付するシラバスによってお知らせします。

なお、昨年度より移行措置が取られているため新しく加わった学習内容については別冊を配付したり、学習する順番を変えながら進めたりしております。

空いっぱい広がるうろこ雲に本格的な秋を感じる季節です。稲刈りが終わった田んぼには、必ずこの季節を忘れずに一斉に咲き誇る彼岸花が鮮やかな赤を見せてくれるはずなのですが、今年はどうしたことか、少し遅れているようです。



コロナ禍の中で4月から始まった本年度もちょうど半分を終え、折り返し地点を迎えました。一年で一番過ごしやすいこの季節、例年とは違った制約はあるものの、勉強にスポーツに、また、学校行事に、そして、進路の決定に向けて充実した生活を送ってほしいと願っています。

## 第2回コミュニティスクール運営協議会開催

9月24日（木）、本年度2回目の運営協議会が八郷小学校のコミュニティスクール運営協議会と合同で、本校を会場に開かれました。全員で授業を参観したあと、両校の活動の紹介や今後の活動のあり方について熱心に意見交換が行われました。

委員の方々には、廊下や教室の掲示物など、工夫を凝らした創作物や力のこもった作品に足を止められ、お褒めの言葉をいただきました。また、学習環境が整い、整然と授業が進められているとの評価もいただきました。



今回の合同開催により、学びの連続の視点からも情報交換ができたことは、大変意義がありました。今後も地域のみなさんのお力添えをいただきながら、教育活動のさらなる充実をめざしていききたいと思えます。

## 道徳 ～教科書から学びを深める～

4連休明けの9月23日（水）、道徳の授業を通して学び合う校内研修会が行われ、各学年で選ばれた学

級がそれぞれ授業を公開しました。また、当日は四日市市教育委員会から3人の指導主事に来ていただき、授業参観の上、事後の研修会でご指導ご助言をいただきました。

中学校で「道徳」が「教科」になって2年目（小学校は3年目）を迎えましたが、教師も、「考え、議論する道徳」への授業転換と、多様な指導方法の工夫や評価について、まだまだ研究や研修を重ねなければなりません。

授業では、生徒がそれぞれに持つさまざまな価値観に基づく意見が交わされ、新たな気づきもあったようです。わたしたち教師も、生徒とともに考えようとする姿勢を常に持って、子どもたちの自己実現と質の高い学びのために、さらに努力していききたいものです。



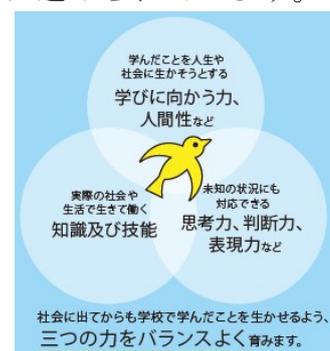
# 来年度本格実施の新学習指導要領について

来年度より新しい「学習指導要領」が施行されます（部分的に道徳などは先行実施）。

「学習指導要領」とは、全国どの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。子どもたちの教科書や時間割は、これを基に作られ、およそ10年に一度、改訂されます。その改訂を受け、中学校では令和3年度から本格的に新学習指導要領による教育活動が行われます（小学校は令和2年度～、高等学校は令和4年度～）。

今回の改訂では、これまで大切にされてきた、「子どもたちに『生きる力』を育む」という目標に加え、社会の変化を見据え、新たな学びを目指しています。「学校で学んだことが、子どもたちの『生きる力』となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。」「これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。」「明るい未来を、共に創っていきたい。」、そんな願いが、「新学習指導要領」に込められています。

『生きる力』を育むために、「何を学ぶか」だけでなく、「主体的・対話的で深い学びの視点からどのように学ぶのか」も重視して授業改善を図ります。そして社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力（①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力など、③学びに向かう力、人間性など）をバランスよく育むことが改訂のねらいです。



新学習指導要領施行に伴い、評価の方法も変わります。なお、三つの力のうち③「人間性など」については、各教科の評価に含めません。

現行の学習指導要領における評価の4観点	新しい学習指導要領における評価の3観点
①関心・意欲・態度	①知識・技能
②思考・判断・表現	②思考・判断・表現
③技能	③主体的に学習に取り組む態度
④知識・理解	
※国語は5観点	※全教科3観点

各教科でどのように評価するかは、令和3年4月に配付するシラバスによってお知らせします。

なお、昨年度より移行措置が取られているため新しく加わった学習内容については別冊を配付したり、学習する順番を変えながら進めたりしております。